



ふらっと通信

2023年11月 第4号

発行：人権教育推進室長 伏見裕子
(fushimiyuko@osaka-pct.ac.jp)

活動報告：4年生人権教育講演会

8月7日に、4年生対象の人権教育講演会を実施しました。『ふらっとライフ』第9章の著者である片田孫朝日さんを講師に迎え、「多様なルーツをもつ人々が住みやすい社会へ」という学年の講演テーマに沿ってお話していただきました。

学生からの質問・意見を取り上げながら、人権の定義や人権を学ぶ意義について確認し、社会で起きている人種差別事例を例に、丁寧に回答していただきました。「自分が差別や暴力の現場に居合わせたら…?」「技術者や企業にできることは?」「どんな法制度が必要?」…と、具体的に考えを巡らせる機会になったのではないかと思います。



人権とは?

- **元気に生きていく**のに欠かせない大切なもの。
- 互いに尊重すべきもの。

- ①安心して、②自信をもって、③自由
- 権利(ルール)に生きる
- (出典) 森田ゆり他『あなたが守る あなたの心 あなたのからだ』

4年生の振り返り(11/29現在)

- この講演の内容を理解できましたか?
「はい」(94.7%)、「いいえ」(5.3%)
- この講演のテーマについて新しい発見がありましたか?
「はい」(71.3%)、「いいえ」(28.7%)
- 今回学んだことを、他の場面(他の人権課題)でも活かせると思いますか?
「はい」(85.1%)、「いいえ」(14.9%)

【学生からのコメント】(一部抜粋)

理解したこと 「自分の人権について良く理解しておく。分かつくと育休とかやりやすいよ!」「無知は損だということ。自分が知らないうちに人を傷つけたりすることがあると感じた。」

発見したこと 「日本の難民受け入れ数が少ないとは知っていたが、予想以上に少なかったこと」・「認識していなくてもマイリティは近くにいるかもしれないということ」・「いまだに大きな会社でも差別があり、驚きを隠せなかったです。」

学びを活かす場面など 「第三者が頑張るのはかなり重要だと感じた。自分はあまり発言ができないのでもう少し勇気を持ちたい。」

1年生の「ダイバーシティと人権」(前期科目)より

前号に引き続き、「ダイバーシティと人権」の夏休み課題から作品を紹介します。

今回の作品では、強いライオンに襲われて怖い思いをしたウサギが、ライオンと仲の良いネコに助けを求めたけれど、ネコは「争いごとは好きじゃない」・「ボクは中立」と言って、何もしてくれません。このネコの態度は、ウサギにとって「ネコもライオンの味方である」(強者・弱者の関係は変わらず、強者にとって有利な状況が温存される)ということを意味していました。「「中立」は存在しない(「中立」はマジョリティ側につくということを意味するだけ)」ということを、動物同士の関係をユーモラスに描きながら表現してくれた作品です。

